



春日 隆司 議員

多様な意見を尊重しあう町政を！

町長 協力関係を住民にお願いし施策を進める

町政推進の基本姿勢

質問 選挙を受けて、多様な意見を理解、尊重しあい、町政を進める姿勢が必要でないか。

町長 少数派の声を聞きながら、多くの声が施策に反映するということになれば、協力関係をしっかりと住民の方々にもお願いし、施策を一步進めていけるようにしたい。

総合計画と公約の関連

質問 総計と公約は2本立て。公約を総計に組入れる見直しが必要では。

町長 公約は計画と整合性を持ち進めていくことが大事。ローリングをしながら、時流に相応しい、計画の進め方を長いスパンの中で展開していく。

再質問 3月、議会総意で人口目標を示すべきと特別

決議している。重く受け止めていると思うが。

町長 特別決議は重く受け止めながら、内部で議論した結果、町として人口目標は設定しない。

林産業・中小企業政策

質問 林産業、中小企業の現状をどう理解しているか。

町長 担い手対策、後継者問題が大きな問題。林業界は原料が不足。商工会と連携を密にしながら情報交流し、対処していきたい。

再質問 既存産業の支援にどれだけ踏み込めるのか。

町長 財政問題がある。背丈に合った支出をしながら生き残れる、また新業態へ転換、協業化など様々な選択肢を情報提供しながら、相談に乗りながら進めていく。

再質問 一人当たりの交付

税は増えている。スーパーの廃業は1年前から分かっていた。問題が起きてからの対策ではなく、事前に対策・情報収集をして積極的、前向きな対応が必要でないか。

町長 行政が踏み込むと難しい問題も出てくる。商工会、農協などがしっかりと把握していただき、町と連携して対処を考えていくことが非常に求められている。

子育て支援

質問 条件が整うことで経済成長にもつながり財政効果もある。何でも案内できる総合案内人設置、また近隣で導入している給付型奨学金導入の考えはないか。

町長 専門的な部署への相談がベター。様々な奨学金制度は議論中。

再質問 中高生の希望を尊重しながら下川へ戻って

ただ、長い目での奨学金制度が必要。

高齢者施設問題

質問 選挙戦を通して町民からの意見を受けての考え方は。

町長 「支援ハウス」のような施設の拡大、増設の声をいただいたが非常にハードルが高い。既存施設のスタッフ確保が優先課題としてある。

どのような実を結ぶのか

質問 10億円借金し、3億円貯金を取崩し、種をまいた。4年後の花が咲き実を結ぶイメージは。

町長 個別施策をSDGsに結び付け実現を目指す。